

平成 28 年 2 月 1 日

「消防庁救急蘇生統計データベースを用いた院外心肺停止患者の予後に関する因子の検討」へのご協力のごお願い（疫学研究に関する情報）

[研究の背景および目的]

高齢から小児まで全ての年齢で発症する心肺停止患者の予後を改善することは健康社会を維持する上で非常に重要な問題です。現在の日本では、救急搬送を要した全ての院外心肺停止患者の患者情報、病院前救護情報、転帰情報が消防庁によって記録されています。そのデータはまとめられ「救急蘇生統計」としてすでに公表されていますが、消防庁はこれらのデータを救急蘇生の発展に資するべくより詳細な分析が行えるよう、救急医療機関にむけて救急蘇生統計に関するデータの提供を開始しています。この研究ではこの消防庁救急蘇生統計データベースを用いて、院外心肺停止に関するより質の高い疫学調査を行うことを目的としています。バイアスの少ない大規模データに基づいて心肺停止患者の予後に関する因子を特定出来れば、心肺停止患者の予後改善につながる可能性があります。

[研究機関]

琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座

[研究方法]

琉球大学医学部附属病院救急部にて、消防庁救急蘇生統計に関するデータベースを用いた研究を行います。使用するデータは、消防庁救急企画室により既に個人を特定できない状態に匿名化された救急蘇生統計に関するデータベースの提供を受け、これのみを用いて解析を行います。

[個人情報の保護]

この研究にご参加いただいた患者さんの情報・データは、消防庁救急企画室により、氏名・住所・生年月日などの個人情報を削って個人が特定できないよう匿名化された状態で提供を受けます。そのため患者さんを特定できる個人情報は使用しません。またデータに関しては消防庁に問い合わせることが出来ます。

[問い合わせ先]

琉球大学医学部附属病院救急部 担当医師 久木田一朗
電話 098-895-3331 内線 4989